

No	テーマ	学修到達目標	内容	課題
第 1 講	序論 衣環境学から考える被服  本論 ファッションと生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間を中心にした生活環境の広がりを理解する。</li> <li>・衣服のさまざまな着装起源について説明できる。</li> <li>・衣服の快適性追究が地球環境にもたらす影響を理解する。</li> <li>・衣服の快適性追究が人間にもたらす影響を理解する。</li> <li>・人間の歴史とファッションの歴史の関係を説明できる。</li> <li>・近代工業化と衣服の既製服化を理解する。</li> <li>・高度経済成長と既製服化の進展の歴史が理解できる。</li> <li>・人間の心理的欲求とファッションのかかわりを理解する。</li> <li>・社会構造の問題がファッションに与える影響を理解する。</li> </ul>	(序 1)環境とは (序 2)人間に最も近い環境を形成する衣服 (序 3)衣環境の快適性と地球環境 (1)ファッションの変遷 (2)ファッション導入時代 (3)ファッション大衆化時代 (4)ファッション個性化時代 (5)ファッション多様化時代	(1)人間の様々な着装起源説を自分の今の着装状態と関係させて説明しなさい。 (2)快適性の追究が環境に与える悪影響について、事例をあげて考察しなさい。 (3)大流行したファッションを例にあげ、その時の社会背景と関連させて流行の状態を考察しなさい。
第 2 講	被服の機能と材料に求められる性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の着装行動に影響を及ぼす要因について説明できる。</li> <li>・被服の保健衛生的機能と社会生活機能が説明できる。</li> <li>・衣環境の快・不快は感覚受容器で感受されることを知る。</li> <li>・被服材料には様々な性能が求められていることを理解する。</li> <li>・被服材料に要求される性能を主要製品ごとに説明できる。</li> </ul>	(1)被服の着装 (2)被服の機能 (3)快適衣環境のデザイン (4)被服材料に求められる性能	(1)自分の着装衣服を自分の着装行動に照合させて説明しなさい。 (2)被服購入時、被服にどのような性能を求めて購入するか、アイテム別に説明しなさい。
第 3 講	被服用天然繊維の種類と分類、性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維は高分子物質であることを理解する。</li> <li>・天然繊維の分類方法と種類について説明できる。</li> <li>・植物繊維の主成分、構造、性能、特徴、利用分野を説明できる。</li> <li>・動物繊維の主成分、構造、性能、特徴、利用分野を説明できる。</li> </ul>	(1)繊維の定義 (2)植物繊維の種子毛繊維 (3)植物繊維の靱皮繊維 (4)動物繊維の獣毛繊維 (5)動物繊維の絹繊維	(1)綿と麻は主成分が同じなのに、なぜ性能が異なるか説明しなさい。 (2)羊毛と絹は主成分が同じなのに、なぜ性能が異なるのか説明しなさい。
第 4 講	被服用化学繊維の種類と分類、性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学繊維の分類方法と種類について説明できる。</li> </ul>	(1)化学繊維の紡糸	(1)再生繊維の 3 種類は主成分が同

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生繊維、半合成繊維、合成繊維の分子構造の違いが説明できる。</li> <li>・化学繊維の紡糸方法について説明できる。</li> <li>・再生繊維の主成分、構造、性能、利用分野が説明できる。</li> <li>・半合成繊維の主成分、構造、性能、利用分野が説明できる。</li> <li>・合成繊維の主成分、構造、性能、特徴、利用分野が説明できる。</li> <li>・特殊繊維の利用分野を事例をあげて説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2)再生繊維のレーヨン</li> <li>(3)再生繊維のキュプラ</li> <li>(4)再生繊維のポリノジック</li> <li>(5)半合成繊維のアセテート</li> <li>(6)半合成繊維のプロミックス</li> <li>(7)合成繊維のナイロン</li> <li>(8)合成繊維のポリエステル</li> <li>(9)合成繊維のアクリル</li> <li>(10)その他の合成繊維</li> <li>(11)無機繊維</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>じであるが、若干性能が異なっている。その原因を追究しなさい。</li> <li>(2)合成繊維の3種類は利用分野が若干異なっている。その理由を考察しなさい。</li> <li>(3)日常生活には様々な繊維が利用されている。被服以外に利用されている材料を、事例をあげて考察しなさい。</li> </ul>
第5講	被服用糸の種類と性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿や羊毛など短繊維の紡績工程の概略について理解する。</li> <li>・絹など長繊維の製糸工程の概略について理解する。</li> <li>・糸の形態が布の風合いに与える影響について説明できる。</li> <li>・糸の風合いに影響を与える構成因子を説明できる。</li> <li>・糸の太さを表す番手法について説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)繊維集合体としての糸</li> <li>(2)糸の製造</li> <li>(3)製造法による糸の種類</li> <li>(4)用途による糸の種類</li> <li>(5)糸の撚り方向と撚り合わせ数</li> <li>(6)撚り数と撚りの強さ</li> <li>(7)糸の太さの表示法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)縫製用縫い糸とレース糸を分解して組織の違いを考察しなさい。</li> <li>(2)自分の衣服を、紡績糸使用とフィラメント糸使用に分類しなさい。</li> <li>(3)綿ミン糸(カタン糸)を数種類分解して、表示番手数と細さの違いを考察しなさい。</li> </ul>
第6講	被服用織物の製造、構造、性能、分類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・織物の製造法の原理について説明できる。</li> <li>・織物の基本組織と変化組織について説明できる。</li> <li>・織物の風合いや表情に影響を与える構成因子を説明できる。</li> <li>・代表的な織物の名称と素材と組織の関係を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)繊維集合体としての織物</li> <li>(2)製織の方法と原理</li> <li>(3)織物の構造</li> <li>(4)織物の分類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)自分が着用しているジャケットやズボンの組織を観察しなさい。</li> <li>(2)素材と組織の違いで布名称がつけられていることを調査しなさい。</li> </ul>
第7講	被服用編物の構造、分類、組織、製造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編物の製造法の原理について説明できる。</li> <li>・緯編の基本組織と変化組織について説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)繊維集合体としての編物</li> <li>(2)編組織の構造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)自分が着用している肌着やインナーの組織を観察しなさい。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経編の基本組織と変化組織について説明できる。</li> <li>・編物の風合いや表情に影響を与える構成因子を説明できる。</li> <li>・代表的な編地の名称と素材と組織の関係を説明できる。</li> <li>・織布と編地の性能の違いを説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(3)編組織の分類</li> <li>(4)緯編の基本組織</li> <li>(5)緯編の変化組織</li> <li>(6)経編の基本組織</li> <li>(7)経編の変化組織</li> <li>(8)編地の製造</li> <li>(9)編物と織物の性能の比較</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2)自分が着用している被服を、織物と編物に分類し、その風合いや着用感を比較して考察しなさい。</li> <li>(3)繊維製品が持つ様々な性能が、織物と編物でどのように異なるかを考察しなさい。</li> </ul>
第 8 講	繊維製品の染色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な天然染料について説明できる。</li> <li>・主な合成染料の種類と、対象繊維素材が説明できる。</li> <li>・日本の伝統的染色方法をあげて比較説明ができる。</li> <li>・主な繊維素材とその染色方法について説明できる。</li> <li>・染色堅牢度の種類について説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)染料</li> <li>(2)合成染料の種類と性質</li> <li>(3)染色に使用する水</li> <li>(4)染色法</li> <li>(5)主な繊維の染色</li> <li>(6)染色物の堅牢度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)浸染法と捺染法にわけて、その染色原理を比較説明しなさい。</li> <li>(2)染色された自分の衣服アイテムについて、その染色方法を推測し、着用中はどの染色堅牢度が重要かを考察しなさい。</li> </ul>
第 9 講	被服の製造と品質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレル商品の企画から販売までの流れを説明できる。</li> <li>・アパレル商品の主資材と副資材の種類と、それぞれの資材に必要な消費科学的特性因子が説明できる。</li> <li>・アパレル商品の工業的生産工程について説明できる。</li> <li>・アパレル商品の品質管理にかかわる因子を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)アパレルの商品企画とプロセス</li> <li>(2)被服設計と材料特性</li> <li>(3)パターンメイキング</li> <li>(4)グレーディング</li> <li>(5)マーキング</li> <li>(6)縫製仕様書</li> <li>(7)縫製準備工程</li> <li>(8)縫製工程</li> <li>(9)仕上げ工程</li> <li>(10)縫製の生産管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)アパレル製品の製造において、手作り単品製作と工業的大量生産の相違点を考察しなさい。</li> <li>(2)マーキング作業において最も重要なことは何か考察しなさい。</li> <li>(3)縫製仕様書にはどのような事が重要視されているかを考察しなさい。</li> <li>(4)大量生産現場における品質管理者が最も気を付けなければならないことは何か考察しなさい。</li> </ul>

第10講	<p>人体の発熱と放熱</p> <p>被服による皮膚温・体温維持作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の体温維持の生理と、自律神経の関係を説明できる。</li> <li>・人間の快適環境条件と被服の保温性の関係を説明できる。</li> <li>・被服気候の快適条件を説明できるとともに、体温と皮膚温の関係を説明できる。</li> <li>・被服材料の衛生学的性能と着心地の関係を説明できる。</li> </ul>	<p>(1)被服材料と衛生</p> <p>(2)人間の体温調節の生理</p> <p>(3)人間の快適環境条件</p> <p>(4)被服気候</p> <p>(5)被服材料の衛生学的性能</p>	<p>(1)環境の温熱条件と生活環境の快適条件の関係を考察しなさい。</p> <p>(2)夏季と冬季の着用状態を比較して、被服層と空気層の被服気候を考察しなさい。</p>
第11講	<p>被服による皮膚障害、衣料公害</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服圧の発生原因と身体への悪影響について説明できる。</li> <li>・皮膚の汚染原因を分類し、対処方法について説明できる。</li> <li>・衣服による皮膚障害について、物理的刺激と化学的刺激に分けて説明できる。</li> </ul>	<p>(1)衣服圧の発生原因</p> <p>(2)衣服圧の生体への影響</p> <p>(3)皮膚の汚染と衛生</p> <p>(4)皮膚の汚染と健康</p> <p>(5)衣服による皮膚障害</p> <p>(6)皮膚障害と衣服</p>	<p>(1)自分の着装状態から、どのような衣服がどの部位に衣服圧を発生しているか考察しなさい。</p> <p>(2)衛生的で健康的な衣生活を送るため、日常生活で気をつけることは何か、事例をあげて考察しなさい。</p>
第12講	<p>洗浄理論、仕上げ加工、保管</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における汚れの種類と効果的対処法を説明できる。</li> <li>・市販洗剤の種類(界面活性剤の種類)と汚れの種類を対応させて、効果的洗浄方法について説明できる。</li> <li>・洗浄の条件をあげて、効果的洗濯方法を説明できる。</li> <li>・繊維製品の素材に合わせた合理的保管方法を説明できる。</li> </ul>	<p>(1)洗浄</p> <p>(2)漂白</p> <p>(3)仕上げ</p> <p>(4)しみ抜き</p> <p>(5)繊維製品の保管</p>	<p>(1)これまでの自分の洗濯方法を分析して、より効果的な洗濯方法を考察しなさい。</p> <p>(2)日本における春と秋の衣替えの重要性を考察しなさい。</p>
第13講	<p>繊維特性による品質苦情</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレル製品の消費者苦情について、事例を説明できる。</li> <li>・アパレル製品の消費者苦情の原因を把握するため、製造過程における特性要因について説明できる。</li> <li>・第2講から第4講で学修した各繊維特性と関連させ、品質苦情を防止するにはどうすれば良いか説明できる。</li> <li>・消費者苦情が起きないようにするため、生産者として注意すべきことが説明できる。</li> </ul>	<p>(1)消費者苦情の把握</p> <p>(2)アパレルの品質苦情の特徴</p> <p>(3)綿繊維の特性と品質苦情</p> <p>(4)麻繊維の特性と品質苦情</p> <p>(5)毛繊維の特性と品質苦情</p> <p>(6)絹繊維の特性と品質苦情</p> <p>(7)レーヨンの特性と品質苦情</p>	<p>(1)自分のこれまでの衣生活を振り返り、アパレル製品に発生した不都合事例をあげ、解決方法を考察しなさい。</p> <p>(2)アパレル製品の品質苦情が社会問題になった事例をいくつか挙げて、生産者側で注意すべき点と、消</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の衣生活における被服の損傷事例など、具体的な苦情事例の原因と対処法を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(8)アセテートの特性と品質苦情</li> <li>(9)ポリエステルの特性と品質苦情</li> <li>(10)ナイロンの特性と品質苦情</li> </ul>	<p>費者側で注意すべき点を考察しなさい。</p>
第14講	被服の廃棄問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の製造工程中に発生する素材廃棄の現状を説明できる。</li> <li>・消費者がどのように衣服を廃棄しているか説明できる。</li> <li>・被服の廃棄量を減らすための、企業努力と消費者行動を具体的に説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)被服廃棄の現状と原因</li> <li>(2)廃棄量を減らすための企業努力</li> <li>(3)廃棄量を減らすための消費者行動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)被服の廃棄に関する世界的問題と日本での問題を調査しなさい。</li> <li>(2)自分の衣生活を振り返り、廃棄量を減らす方策を考察しなさい。</li> </ul>
第15講	繊維製品の品質表示、原産国表示 各種の表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用品品質表示法に定められている、繊維製品の表示について説明できる。</li> <li>・家庭洗濯等取扱い表示(洗濯絵表示)について説明できる。</li> <li>・原産国表示が定められている法規とその内容が説明できる。</li> <li>・アパレル製品の様々な品質保証マークを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)家庭用品品質表示法による表示</li> <li>(2)原産国表示</li> <li>(3)既製衣料品の JIS サイズ表示</li> <li>(4)防災表示</li> <li>(5)繊維製品の品質保証マーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)家庭用品品質表示法と不当景品類及び不当表示防止法の内容を調査して、内容の詳細を述べなさい。</li> <li>(2)表示内容を一般消費者に浸透させる方策を考察しなさい。</li> </ul>